

「TOMORROW 明日」

校長 内山 茂



夏休みが終了した。今年の夏も、各地で高校生が関わった事件・事故が起こった。本校でも、いくつかの心配な事案があったものの、無事に9月を迎えることができた。

ところで、8月9日(日)の登校日、本校恒例の平和学習を行った。今年は、長崎への原爆投下に関するビデオ『ナガサキの少年・少女たち』を鑑賞した。この日、私の話の中で、本県出身の作家井上光晴さんの『明日』という本を紹介したが、

8月19日(水)の長崎新聞にこの本に関する記事が掲載されていて、正式には『明日 1945年8月8日・長崎』という書名であることを知った。その内容は、この本を原作とした映画『TOMORROW 明日』を紹介したものであった。一部引用して皆さんに紹介する。

登場人物は「翌日、原爆が落とされる」などとは夢にも思っていない。結婚や赤ちゃんの誕生といった庶民の希望が無残に断ち切られてしまうことを、映画を見る人はすでに知っている。それがつらい。時間が8月9日に近づくごとに、不気味な恐怖感がある。(中略) 日常を奪った原爆への憤りが2倍、3倍に増す。

機会があれば、本を読むなり、映画を見るなりして、改めて原爆の恐怖と平和の尊さを学び、今後の世界と日本のあり様を考える一助にして欲しいと願う。

来年から18歳で選挙権が与えられ、高校生も政治に参加することになる。自分で考え、判断する力と行動力をしっかり身につけることが大切だ。

平成27年度4月～7月の学校経営総括

今年度は、創立50周年を迎える記念すべき年。本校の建学の精神「真面目な近代産業人の育成」の原点にかえり、昨年度の反省から、キャリア教育の充実、基礎学力の定着と資格取得、授業規律と授業改善、チェックカード指導等に取り組んでいます。このような取り組みが昨年度よりも授業中の態度や容儀面等、学校生活にでも、高校生としての自覚が見られるようになりつつあります。

また、部活動においても県大会上位進出や九州・全国大会での活躍もありました。

これからも、体育祭・文化祭等の50周年記念行事をとおして佐実生の誇りと自覚を胸に、大きく飛躍することを目指します。

平成27年度 育友会「地区懇談会」を開催

7月29日(水)から8月4日(火)までの5日間、平成27年度「育友会地区懇談会」を開催しました。江迎地区公民館・川棚中央公民館・広田地区公民館・本校会議室(2日間)と御出席いただき、保護者の皆様におかれましては、誠にありがとうございました。

各会場とも、まず、学年別に分かれ、学年部長からそれぞれの学年の現状や学校行事等について説明があり、その後、各学級別に分かれて個人面談等で、細やかな情報交換が行われました。次年度は、面談と学年懇談会の同時実施等の工夫が求められます。

また、全体会では、育友会会長挨拶、校長挨拶に続き、教務部長・生徒指導部長・進路指導部長から夏季休業中の家庭学習や生活習慣等について話がありました。

出席率については、全体で65.9%と一昨年より若干低く、3者面談等で常に連絡を取り合っている3学年の出席率が低かったことが影響したものとされます。



平和学習 - 戦争のない平和な世界を築くために

内山校長先生の巻頭言にもあるように、8月9日(日)、本校では「ナガサキの少年・少女たち」というビデオを鑑賞し、原爆の恐ろしさ、被爆者とその家族の痛みや苦しみを目の当たりにしました。

生徒たちの感想文をしてみると、ほとんどの生徒が理解してくれたようです。その中から印象に残ったものを紹介させていただきます。

小・中学生の頃から、ビデオや講話を聴いてきましたが、改めて原爆の恐ろしさを知りました。当時は、なんとなく聴いていましたが、今回は、自分が普通に生きていられることが、どれだけ幸せなことかを今になって改めて感じました。被爆者の皆さんが高齢になられている今、いずれ、私たちが成人して家族を持つことになると思います。その時、子どもたちに戦争の恐ろしさを伝えられるのは自分たちしかないのだということに気がつきました。

新聞やテレビでも報道されているように、毎日、どこかで、いじめや殺人などの事件が起こっています。しかし、私たち一人ひとりがそのようなことをやらないと強く決意しなければ、世の中は平和にはならないと思います。そのような、当たり前のことを当たり前にすることが平和への第一歩だと思います。親からもらった命を大切に、感謝の気持ちを忘れずに今後も頑張っていきたいと思います。(1年男子)

皆さん、一人ひとりが、このような気持ちを持ち、家族や友人を大切にすることで、いじめや暴力のない平和な世界が継続していくのではないのでしょうか。

今回の平和学習をとおして、ひとりでも多くの皆さんが、優しく、思いやりのある心を育ててくれることを祈念します。